

●塗装について

①使用する塗料（ほとんどの塗料はホームセンターで購入できます）

水性合成樹脂塗料・・・乾くと耐水性になり取り扱いが簡単。
（船体・デッキ用） シンナー系統に弱い方にお勧めです。
（駐車場のライン引き用の塗料がお勧めです。）

油性合成樹脂塗料・・・ペイントシンナーで薄めて使う塗料。
（船体内部用） （木部・鉄部用塗料がお勧めです）

ウレタニス・・・ペイントシンナーで薄めて使う塗料で木目を
（デッキ部用） 生かすのに向いています。
（木部用1液形ウレタニスがお勧めです）

マリンペンキ・・・ペイントシンナーで薄めて使う船舶用塗料で硬化しても
（船体外部用） 塗膜に弾力性があり、はげにくい塗料です
（当社のマリンペンキがベニヤとの相性がよくお勧めです）

②塗装の方法

最初に塗装する部分のホコリをきれいに掃除しておきます。

次に塗料を牛乳パック等に小分けして出し、ハケで塗りやすい程度に薄め液で薄めます。

図-1のように木目にそってハケで塗ります。そのまま図-2のように木目に直角に刷毛を通します。

塗料が乾かないうちに2～3回同じ要領でハケを通します。（塗りムラは気にしないで一気に作業します）

ハケを水平方向、垂直方向に通すことで塗料が均一に広がりハケ目が目立たなくなります。

1日乾かしてから使い古しのサンドペーパーで軽く塗装面を研磨します。（手でさわって面がガサガサしない程度）

研磨のホコリを乾いた雑巾でふき取り、再度同じ要領で塗装し、乾いたら研磨します。

3～4回同じ工程で塗装を繰り返せば塗りムラのない、ハケ目が目立たない、きれいな仕上がりになります。

図-1

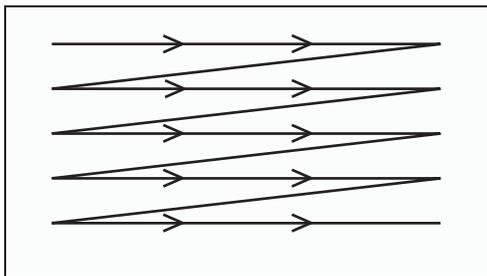
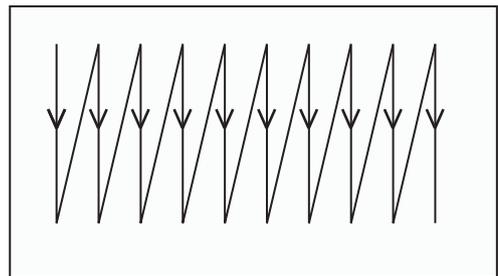


図-2



※ベニヤはきれいな用でも細かいケバ立ちがありますので、塗料が乾いた後サンドペーパーで研磨することでツルツルした塗装仕上げになります。

※使用後の刷毛は毎回シンナーや水で洗わず、牛乳パックに水を入れその中につけておけば固まらないです。

③塗装色の選び方

船体内部は後で塗り直しがしにくいのでグレー系の汚れが目立たない色を選びましょう。

船体部分は白か明るい色で塗れば使っているうちに傷がついてもすぐ気づきメンテナンスができます。

デッキの色は大型船からの視認性がいいように水面で目立つ明るい色にしましょう。

●塗装は3～4回程度で仕上げましょう。回数が多すぎると

船体が重くなります。

塗り直しの時期がまた来ますのでほどほどにしておきましょう